

2024年度丹波市市民プラザと市民活動をよりよく、楽しくする市民会議 (通称：プラザ市民会議) 実施報告書

【開催概要】

- ・ 開催日時：2025/2/16（日）10:30～12:00
- ・ 場所：市民プラザ会議室
- ・ 参加者数：参加 15名（うちスタッフ 4名）
- ・ スタッフ：市民活動支援センター、男女共同参画センター

【開催趣旨】

丹波市市民プラザをもっとより良く、使いやすく、楽しくするために、多岐にわたる利用者の皆さんに集ってもらい、意見交換・アイデア創出をする話し合いの場です。毎年開催しており、テーマに合わせて話し合い、出てきたアイデアをもとに、来年度以降の運営に反映。市民プラザのコンセプト「みんなで作る・育てる」を実現させていきます。

今回のテーマ

もっと 市民プラザを入りやすく、 居心地のいい場所にするには？

各センターの相談や会議室のほか、オープンスペースで自由に過ごすこともできます。
まだ一度も行ったことがない人が、もっと訪れやすくなるように。訪れた人が、もっと
過ごしやすいための工夫について、みなさんでお話しましょう。

【実施記録】

進行

- 10:30- 開会・チェックイン
▶参加者自己紹介：名前、市民プラザとの関わり、生活の中での心地の良い時間
- 10:45- 市民プラザの今について、説明
▶市民プラザ・各センターの紹介
▶昨年度のプラザ市民会議、取り組みの報告
▶今回のテーマの紹介
- 11:00- 意見交換・アイデア出し
▶2つのテーブルに分かれ、それぞれ別のポイントについて意見交換
「一度も入ったことない人が入るポイントは？」「誰もが居心地が良くなるポイントは？」
- 11:45- アイデアの共有と実現に向けて
- 12:00 閉会

意見交換・アイデア出し

テーブル① 参加者6名、スタッフ2名

テーマ：「一度も入ったことない人が入るポイントは？」

(初めて入った時はどうだったか)

- ・ 何度も来ているので、もう忘れてしまった
- ・ 初めにはイベントの参加だったので、あまり意識しなかった
- ・ ここに参加している人は、目的を持って来館しているので、あまり抵抗感がないのかもしれない

(リアル以外の入口について)

- ・ 来館者は、リアルに来館する前に、インターネットで検索をかけたります。本当の入口は、エントランスではなく、ホームページなどが先に来るかもしれない
- ・ 市やゆめタウンのホームページがわかりにくい
- ・ SNSでもっと発信したら良い（市民活動支援センターでは、Facebook、Instagramを活用）
- ・ 市のホームページなどで連携してもらえないのか

(改めて実際のエントランスを見てみて感じることはあるのか)

- ・ お茶が飲めることなどがわかると入りやすいと思う
- ・ 視覚情報が多すぎると入りにくいかもしれない
- ・ 実施に見に行ってみて、改めて確認してみたい→テーブルメンバーでエントランスを確認する
- ・ カラーリングがダイソーと同じであったり、案内看板が地味だったり、わかりにくい
- ・ モニターは非常に有効。できれば室内ではなく、エントランス側に出したほうが良い。スライドショーよりも動画が有効的だと思う
- ・ 外から見て中に人がいることがわかると良い
- ・ 子どもの遊び場が前にあると入りやすい
- ・ ソファやイスの配置を検討すると良い

(来館の目的は必要なのか)

- ・ エントランスにBGMも流れていたら良い、BGMを来館者自ら選曲できる仕組みも面白い
- ・ 女子中高生は、SNSのように写真、動画を撮影する場所として活用している様子を目撃する
- ・ そもそも入る目的がないと入りにくいのではないか
- ・ 新しい人に来てもらうなら、新しく来る目的を作るか、目的がなくても入りやすくするかのどちらか
- ・ 目的外の人が増えると、目的があって来る人にとって迷惑になるのではないか

テーブル② 参加者 5 名、スタッフ 2 名

テーマ：「誰もが居心地が良くなるポイントは？」

(現状の居心地)

- ・ チラシいっぱいあり、イベントの情報が得られるところが良い
- ・ スタッフに声をかけてもらい、立ち寄りやすくなった
- ・ フロアに人がいないと入りにくい
- ・ 目的がないと来にくい

(具体課題)

- ・ 小中学生がゲームをしている様子が気になった (ルールはどうなっているのか?)
- ・ 子どもだけで来る交通手段がない

(具体アイデア)

- ・ 市民プラザの立地を活かし、市民生活に必要な市役所などを集約する
- ・ 子どもが入りやすいように、施設を可愛くする (壁の色など)
- ・ 市民プラザを涼める場所としてアピールする
- ・ 飲食ができることのアピールする (ゆめタウンでごはんを買って市民プラザで食べよう)
- ・ 勉強ができる (優先の) 時間をつくる
- ・ (ゲーム以外に) 小中学生が遊べるアナログゲーム、漫画などを置く

アイデアまとめ

それぞれのテーブルでの話し合いを共有、意見・アイデアを実現させるために会場全体で話し合った。

(両テーブルでの共通点)

- 目的を持って来館される方は、入りにくさはなく、居心地も高評価
- 外側から見えるところ、オープンスペースに先客がいないと入りにくい、居心地が悪くなる
- (ゆめタウン内での) 施設アピールの改善ができる

話し合いの結果、「新しい目的を作り、新しい人に来てもらうこと」と「目的がなくても入りやすくする仕掛けを作ること」の 2 つの視点でアイデアを整理し、実現に向けて検討することを決めた。

➤ **新しい目的を作るアイデア案** ◎：特に注目したアイデア

◎ SNS の撮影ゾーン (案：イベントに合わせた装飾・撮影背景)

- ・ BGM、レコードを来館者が選べるようにする

- ・ 飲食店等にイベント出店してもらう
- ・ 中高生向け勉強会セミナーを定期的実施する（プログラミング、ロボットなど）
- ・ ネコの譲渡会等イベントを開催する（主催団体としては、夏場は、冷房の効く室内で開催したい）

➤ 目的がなくとも入りやすくするアイデア案 ◎：特に注目したアイデア

◎市民プラザの過ごし方を紹介する動画を作成する。その撮影の過程も発信する。

◎人がいる、人がいることを感じる取り組み（スタッフがフロアで仕事をする、プラザ市民会議の参加メンバーがゆめタウンに来たら市民プラザに立ち寄り過ごす）

- ・ 足元（床面）に案内板をつける
- ・ SNS、ホームページの改善、リンク強化
- ・ 市民プラザ（施設名）にサブテーマをつける
- ・ 毎月第○曜日は、△△△の日！と認知してもらいやすくする

【会場写真】



【補足】

開催日程の都合など、出席が叶わなかった方、団体からもお声がけをいただきました。特に今回のテーマについては、継続的に利用者の皆さんと話し合いながら、一緒により良い施設運営を進めていきます。